

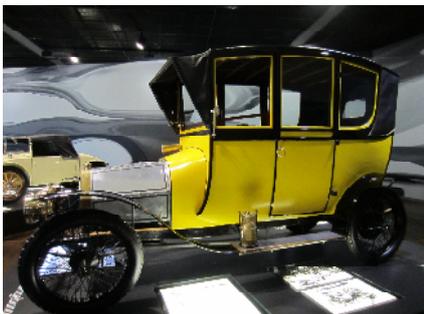
氏名	汪洋	ID No.	G-7	スポンサーLC	名古屋城東LC
派遣先	ドイツ		期間	8月8日～8月26日	

2011年夏、私はYCE派遣生として、8月8日から26日までの3週間にドイツで留学を致しました。ライオンズの皆様に今回の大変珍しい経験をさせていただきまして、誠にありがとうございます。私は今回ドイツのHannoverという所に行かせて頂きました。8日の夜に着き、ホストファミリーお父さんお母さん、お姉さん三人とも空港に迎えにきてくれました。一緒に家に帰り、初めてドイツの家庭料理を食べました。お父さんは貿易仕事して、お母さんは自営業で店を営んでいます。お姉さんはニュージーランドへ留学したこともあるから、すぐ仲良くなりました。



今回ドイツへいく為、半年前から日々一生懸命ドイツ語を勉強してきましたが、まだまだ下手で話せなかったことがほとんどでした。それに対してホストファミリーは伝えなかったことを英語で話してくれました。私は感動して、家族の皆に惚れ、心の中の不安も消えていきました。

ドイツは名車が多くて、全世界でも有数な国です。3週間の間家族と共に車の工場や展覧会に回りました。STA THE AUTOSTADT IN WOLFSBURGとAUTOSTADT工場で車の歴史を習ったり、珍しい車も拝見することが出来ました。楽しい思い出がいっぱいです。



またヴェルフェン公爵の居城とイエーガー・マイスターを観光しました。かつてヴェルフェン公爵が居城を構えた木材ハウスが一軒一軒並び、現在5万5千人が住み、住民の人々は心地のよさで各国の観光客を迎えています。ここは歴史がありながらも活気を感じる都市です。由緒のある教会、立派な城、公爵アウグストが遺した世界的にも有名な図書館、レッシング、600以上も立ち並ぶ木材ハウスの旧市街などとても綺麗で衝撃的でした。

ヴェルフェンビュッテルは世界でも特にハーブ・リキュールのイエーガー・マイスターの街として有名です。この街で生まれたイエーガー・マイスターもすでに74カ国に売り出しています。

この3週間、楽しい思い出と共にあっという間に過ぎてしまいました。ドイツの皆様に触れ、ドイツ語を勉強し、ドイツ人の心の豊かさと暖かさを存分に実感致しました。私には言葉がうまく伝わらなかった時たくさんあって悔しかったけど、ジェスチャーも使い、なんとか自分の思いをドイツの皆様に表しました。ライオンズの皆様のお陰で自分自身が言葉の壁を乗り越えた感じが致しました。今回の経験を通して自分がまた成長した思いがいたしました。

あらためて、このような経験を下さったライオンズの皆様にお礼を申し上げます。誠にありがとうございます。これからも、進んでいく留学生活にも今回の経験を生かしていきたいと思います。

それに、もうひとつ気になったことはドイツでは車はリミットがないのはなぜでしょう。皆は思うままに加速が出来ます。それなのに交通事故の発生率はかなり低いのです。その原因は何でしょうか。車の構造あるいは道路の作り方...今回の3週間では解き明かすことが出来なかったですけど、またドイツに行くチャンスがありましたら、この問題を解き明かしてみたいです。